

基本理念

ここに記載してあることは、私が非常に重要視していることであり、ご自身の中での節目ごとに何度も目を通すようにしてください。

青牛式トレードマスター講座に参加いただき、本当にありがとうございます。

事前のアナウンスでもお伝えしましたが、この講座は参加者が私からトレードを教わる場ではありません。

あくまで、参加者自身が「**自分の意志と行動でトレーディングスキルを掴み取るための場**」です。

コンテンツ等をアップするペースは、概ね2〜3日に1回のペースと現状考
えています。

なぜなら、一気にコンテンツをアップしたところで、一つ一つが持つ価値や意義が薄れるだけであることや、全体の学習ペースの足並みをある程度揃える必要があるからです。

これは、第一に「単に情報を受け取ること」を”学習”と事実上認識しているかのような言動が目立つ人ほどこの手の要求をすることが多く、そういう「少なくとも現段階の在り方では”本質的に”トレーダーに向いていなさそう」な方への返信や対応にエネルギーを浪費することによって、本気で努力し、結果として講座の発展や他の参加者の成長にも貢献するであろうメンバーに配分できる有限のリソースを減らす事態を回避するためです。

そして第二に、参加者自身がトライ＆エラーを繰り返す中で、少なくともマクロな傾向としては、一定以上ペースを早めるとフィードバックの質が極端に落ちる可能性が高く、この講座は「”参加型”企画」であり、コンテンツの質は、一人ひとりのフィードバックの質にも大きく左右されます。

青牛式トレードマスター講座

長期的な全体利益を最大化させるインセンティブは、（相場における前提ルールと同じく）「平等」ではなく「公平」だという判断に基いて、「場の価値を高める者が、場から最も恩恵を受ける。」べきだと考えています。

したがって、私自身、全体利益に貢献してくれる "参加者" の成長に貢献することには価値を見出しますが、必要以上に商売を繁盛させることには毛頭関心がないので、どんなにもっともらしい "常識" や "一般論" を持ちだされようが、ただの "お客様" の評判を得ることにはまったく興味がありません。

もちろん、人それぞれ状況や考え方が違うため、傍観することは自由ですが、「意見の重み」もその貢献レベルに応じて判断させていただくのが自然だと考えています。

「傍観するから要求もしない」は結構ですが、「傍観するけど要求はする」だとどうしても意見が反映されにくくなり得るということです。

青牛式トレードマスター講座

私は、全員が「本質的な意味でのトレーダー」になれるとは思っていません。むしろ、大半の方にとっては、他の方法を取った方が賢明だと思っているくらいです。

はからずとも短期の成果にフォーカスして、形式的に真似たつもりになることはそれほど難しくありませんが、**長期的な繁栄を達成できる自立・自律したトレーダーを目指すには「相応の覚悟」と「主体的な獲得精神」が不可欠です。**

だからこそ、募集レターも相当な絞り込みを意識して書いたつもりです。

学習の主体は、あくまであなた自身の日々のトレード実践とそのジャーナルの記録・分析・検証・熟考を中心とする PDCA サイクルであり、講座はその質を高めるための “触媒” 程度の意味合いしか持ちませんし、“講座先にありき” で、それがなければ何もできないといった依存的な姿勢は、全く “トレーダー的” ではなく、とても “危険な臭い” がしてなりません。

青牛式トレードマスター講座

本当に重要なことはいったい何なのか、今一度原点に立ち帰り、青牛式トレードマスター講座に参加する決意を固めてください。

それでは、ともに成長する喜びを共有し、どこまでもどこまでも、遥か彼方までトレーディングスキルを高めていきましょう。

あをうし